

会 議 要 録

名 称	第 5 回 西予市中学校再編検討委員会	
事 務 局	教育委員会教育部教育総務課学校再編係	
	電 話 0894 - 62 - 6430	
	F A X 0894 - 62 - 6564	
開 催 日 時	令和 8 年 4 月 23 日 (木) 19 : 00 ~ 21 : 05	
開 催 場 所	西予市役所 5 階 大会議室	
出席者	委 員	19 名 (欠席 6 名)
	その他	教育長
	事務局	教育部長 教育総務課 5 名 学校教育課 3 名 まなび推進課 2 名
議事内容(要旨)		
委員長	<p>進行：教育総務課長</p> <p>1 開 会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>4 議事</p> <p>西予市中学校再編検討委員会設置要綱（以下、要綱）第 6 条第 1 項により、進行（議長）は委員長。</p> <p>委員 18 人の方に出席であり、過半数以上の出席があることから、要綱第 6 条第 2 項により会議が成立することを報告する。</p> <p>※遅れて 1 名出席</p> <p>（1）前回検討委員会の確認について</p>	
委員長	<p>前回検討委員会の確認についての説明を事務局に求める。</p>	

事務局	<p>前回検討委員会の確認について説明する。</p>
委員長	<p>前回の検討委員会では、子どもたちの教育環境を考えると、学校の再編は必要であるという点について、一定の共通理解が得られたと認識している。本日もまず、その点について共有させていただいた。</p> <p>一方で、再編に伴ってさまざまな影響が及ぶことについては、懸念も示されている。そうした課題を一つ一つ丁寧に洗い出した上で、皆さまと一緒に解決策を考えていくことが必要ではないかと考えている。</p> <p>(2) グループワーク 【パート1】中学校を再編した場合の期待できる効果 教育環境の視点、地域の視点、地域との連携の視点 等</p>
委員長	<p>配布資料について説明を事務局に求める。</p>
事務局	<p>配布資料について説明する。</p>
委員長	<p>それでは、早速グループワークに移りたいと考えます。先ほどご説明いただいた資料についても、提示していただいたものを適宜ご覧いただき、また活用していただきながら、グループワークを進めていただきたいと思います。</p> <p>パート1は、中学校を再編した場合に期待できる効果について、ご意見をいただきたいと思います。お手元の次第にあるとおり、教育環境の視点、地域の視点、そして地域との連携の視点の三つを、ひとまずの切り口として設定している。</p> <p>いきなり意見を出していただくのが難しい場合もあるかと思いますが、本日から新たに参加された方もいらっしゃいますので、最初にグループ内で簡単な自己紹介を行っていただいた上で、パート1のテーマについて意見交換をしていただければと考えています。</p> <p>時間は20分程度とし、19時35分から36分頃を目安に、こちらから改めてお声がけをする。それまでに、パート1の協議を進めていただきたいと思います。</p> <p>(グループワークにより意見交換)</p>

<p>委員長</p> <p>グループ①</p>	<p>各グループで、話し合われたことを発表していただきたい。</p> <p>最初に、学校などの教育課程に関する意見が出された。学校規模が大きくなり人数が増えることで、子ども同士の関わりが広がり、コミュニケーションの幅が広がるのではないかという意見があった。</p> <p>また、職場体験などの行事においては、選択できる職種の幅が広がり、多様な体験が可能になることや、年度によって異なる取組を行うことができるといった点が挙げられた。さらに、学校によっては合唱コンクールなどの行事が、人数が増えることでより盛り上がるのではないかという意見も出された。</p> <p>地域の視点では、人数が増えることにより、それに応じた設備の充実が図られ、子どもたちがさまざまな施設や設備を活用しながら活動できるようになるという話があった。あわせて、複数の地域から子どもたちが集まることで、地域間の交流が広がり、これまで知らなかった地域の魅力に触れる機会が増えるなど、交流の深まりが期待できるという意見も出された。</p> <p>家庭やPTAに関しては、小規模校では役員が早く回ってくるという側面がある一方で、規模が大きくなることで、役員を担う人数に幅が生まれ、多様な方が役割を担うことができるのではないかという意見があった。役を引き受けたい人が継続して関わることも可能になるなど、それぞれの状況に応じた関わり方ができるという点が挙げられた。</p>
<p>グループ②</p>	<p>学校内での教育課程について意見が出された。学校規模が大きくなり人数が増えることで、部活動の数が増え、子どもたちが部活動を選択できる幅が広がるのではないかという意見があった。また、自分のやりたいことに挑戦できるなど、チャレンジの機会が増えるのではないかという意見もあった。さらに、運動会などの行事についても、クラス数が増えることで参加人数が多くなり、より活気のあるものになるのではないかという声があり、あわせて子ども同士のつながりも広がるのではないかといった意見が出された。</p> <p>地域の視点については、当初は学校を統合することで地域との交流が少なくなるのではないかという懸念がありました。しかし、調査結果などを見ていく中で、統合後も十分に交流の場を持つことができ、地域とのつながりは継続できるのではないかという意見が出された。そのため、当初心配していた点につ</p>

<p>グループ②</p>	<p>いては、一定程度解消されるのではないかという見方が示された。</p> <p>統合により、子どもたちが他地域の子ともと関わる機会が増えることで、自分の住んでいる地域だけでなく、市全体への理解が深まるのではないかという意見もあった。西予市全体を一つのまとまりとして捉え、さまざまな地域と関わる経験ができるのではないかという点が挙げられた。</p> <p>さらに、地域行事、特に祭りについても意見が出された。これまでは、地域内の子どもだけが参加する形が多かったが、学校統合をきっかけに交流が広がることで、他の地域の子ともたちも参加するような形が考えられるのではないかという意見があった。</p> <p>最後に、家庭の視点では、古紙回収や保護者負担などについて、学校を統合することで制度の見直しが進み、負担の軽減につながる可能性があるのではないかという意見が出された。</p>
<p>グループ③</p>	<p>子どもたちにとっての効果として、学習面や部活動の面で切磋琢磨できる環境が整うのではないかという意見が出された。</p> <p>また、さまざまな意見や考え方に触れることで視野が広がるという点も挙げられた。あわせて、人間関係に不安や課題を抱えている子どもにとっては、新たな人間関係を再構築できる機会になるのではないかという意見もあった。</p> <p>さらに、子どもの数が増えることで、教員配置についてもより適正な配置が可能になるのではないかという意見が出された。</p> <p>地域の視点については、三班では十分に意見を整理することができなかった。</p> <p>家庭の視点では、地域の異なる保護者同士の交流が生まれる点が挙げられた。そうした交流を通じてつながりが広がり、子どもにとって有益な情報を保護者同士で共有できるのではないか、という意見が出された。</p>
<p>委員長</p>	<p>皆さまから出されたご意見を踏まえると、まず一つ目として、子ども同士の関係性の面で、コミュニケーション能力の向上や人間関係のつながり、関係構築といった観点から、一定の効果が期待できるのではないかという点が、全体のまとめとして挙げられるのではないか。</p>

<p>委員長</p>	<p>また、学校全体の視点で見た場合には、行事の充実や、子どもたちが自分のやりたいことに挑戦できる環境づくりが進むのではないかという意見があった。</p> <p>選択肢をしっかりと設けることで、チャレンジの機会が広がり、あわせて教職員の定数についても適正な配置が可能になるという意見もあったが、特に、子どもたちの選択肢が増える環境を整えられる点が、大きな効果として整理できるのではないか。</p> <p>次に、地域の視点については、端的に言うと、さまざまな人との交流を通じた地域理解の促進が期待できるという点に集約されるのではないか。一つの校区にとどまらず、校区が広がることで、学校を拠点とした多様な交流が生まれ、人の動きや人と人との関わりが活性化することで、これまであまり接点のなかった地域との交流が進むのではないかという意見があった。その結果として、西予市全体や他地域に対する理解が深まっていくのではないか、という点が地域に関するまとめであった。</p> <p>最後に、家庭の視点についてですが、こちらは端的に言うと、役割分担の公平性が高まるのではないかという点が挙げられた。学校や地域の中で、さまざまな役割や活動、例えば古紙回収などの具体的な取組がありますが、こうした役割が特定の家庭に偏らず、公平に担われるようになることや、やりたい人が積極的に関わられる環境が整うのではないかという意見があった。地域の視点とも関連するが、家庭にとってもそうした影響があるのではないか、という形でまとめられる。</p> <p>【パート2】中学校を再編した場合の課題とその解決策 教育環境の視点、地域の視点、地域との連携の視点 等 通学手段、通学路の安全対策、寄宿舎</p>
<p>委員長</p>	<p>パート2については、丁寧に整理していく必要があり、時間をかけて検討していくことが大切だと感じている。</p> <p>パート2では、中学校を再編した場合の課題と、その解決策についてご意見をいただきたい。前回までの検討委員会でも話題に上がっていましたが、中学校を再編することにより、通学距離や通学時間が現在よりも長くなるケースが多くなることが想定される。そのため、通学手段や通学路の安全対策についても、ぜひご協議いただきたいと考えている。</p>

<p>委員長</p>	<p>また、スクールバスなどの通学支援を行った場合でも、通学が困難となる生徒が出てくる可能性がある。その場合には、現在、野村中学校に設置されている寄宿舍のような施設の整備が必要になることも考えられますので、寄宿舍に関する点についても、あわせて話題にしていきたい。</p> <p>なお、寄宿舍に関しては、次回の検討委員会において、入寮生の保護者の方や元入寮生の方にお越しいただき、実際のお話を伺う予定となっている。パート2の協議の後には、そうした方々に聞いてみたいことなどについても、ご意見をいただく時間を設ける予定。</p> <p>まずは、パート2について意見交換の時間を取りたい。時間は20分程度とし、20時13分から15分頃を目安に進めたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>各グループで、話し合われたことを発表していきたい。</p>
<p>グループ①</p>	<p>教育環境に関する課題についてですが、通学時間に大きな差が生じることから、不公平感が出るのではないかという意見があった。特に遠方からの通学については課題が大きく、その対応として寄宿舍の整備が必要ではないかという意見が出された。</p> <p>寄宿舍に関してはさまざまな意見があり、例えば現在でも月曜日の朝に早く出発している地域について、再編によってさらに通学時間が延びる場合、朝5時半頃の出発になる可能性もあり、大野ヶ原などの地域では現実的に厳しいのではないか、という指摘があった。その解決策として、月曜日の朝移動ではなく、日曜日から入寮する形にしてはどうか、といった意見も出された。</p> <p>また、寄宿舍の運営体制については、現在、舎監を学校の教職員、主に男性教員が担っている状況があるが、それを市が主体となって運営し委託する形にできれば、教員の負担軽減につながるのではないかという意見があった。</p> <p>スクールバスについては、他自治体の事例として、スクールバスの運転手を市が直接雇用し、その職員が学校の施設管理業務、例えば草刈りや給食の受け入れ対応なども担っているという紹介があった。スクールバスの運行についても、業者委託ではなく、市が直接運営する形にすることで、雇用の確保も含め、学校としてはありがたいのではないかという意見が出された。</p>

<p>グループ①</p>	<p>三つ目に、家庭の視点での課題として、学校再編に伴い、制服の買い替えや、これまで使用してきた体操服が使えなくなるなど、経済的負担が生じるのではないかという意見があった。</p> <p>解決策としては、統合後しばらくの間は、既存の制服や体操服を使用できるようにすることが考えられるという意見があったが、一方で、子ども自身は新しい制服を望むのではないか、といった声もあった。</p> <p>その他の課題としては、学校再編によって地域が衰退していくのではないか、地域とのつながりが弱くなるのではないかという懸念も示された。その対応策として、学校行事などを通じて、引き続き地域に足を運ぶ機会を確保することが重要ではないかという意見があった。また、やや本筋から外れるものの、義務教育学校化することで、そうした課題の解決につながるのではないか、といった意見も出された。</p>
<p>グループ②</p>	<p>教育活動に関する課題についてですが、学校規模の大小にかかわらず、いじめの問題が起こる可能性はあるのではないか、という意見があった。</p> <p>一方で、生徒数が増えることにより、周囲の生徒が支え合ったり、フォローし合ったりする関係が生まれやすくなり、助け合いの機会が増えるのではないかという意見も出された。</p> <p>また、学校には既にさまざまなサポート体制があるため、そうした仕組みを十分に活用しながら、いじめの問題に対応していくことが重要ではないかという考えが示された。</p> <p>次に、通学に関する課題として、スクールバスの乗車時間が長くなる点が挙げられた。通学時間は長くなるものの、その時間を生徒同士の交流の場として活用したり、宿題や勉強、読書などに充てることで、有意義に使えるのではないかという意見があった。子どもたちは意外と時間の使い方が上手なのではないかという見方もあった。</p> <p>一方で、登下校時のバスの混雑や、予定どおりに運行できない可能性についての懸念も示された。そのため、バス停の位置や通学路の安全性、交通量の多い場所への配慮などを、しっかり検討する必要があるという意見が出された。あわせて、スクールバスだけでなく、公共交通機関の利用も選択肢として検討してはどうかという提案もあった。</p> <p>続いて、地域の人たちにとっての課題として、運動会などの学校行事について、これまでは学校が身近にあったため参加・参観できていたが、再編により距離が離れることで、参加が難</p>

<p>グループ②</p>	<p>しくなる方が増えるのではないかという意見があった。これに対する解決策として、市の広報やシステムを活用して行事を生中継し、地域の活動センターなどで視聴できるようにしてはどうか、という意見が出された。</p> <p>最後に、家庭・保護者の視点での課題として、スクールバスに間に合わなかった場合の対応が挙げられた。その際には保護者が送迎せざるを得ず、負担が増える点については大変だという声があった。また、学校行事の際には保護者の参加人数が増えるため、駐車場の確保が学校側にとっても課題になるのではないか、という意見があった。解決策としては、市の施設を駐車場として活用することや、運動会などの行事自体を市の広い施設で開催するなど、会場や運営方法を工夫する余地があるのではないかという意見が出された。</p>
<p>グループ③</p>	<p>教育課程や学校内での活動に関する課題についてですが、学校規模が大きくなり人数が増えることで、個別指導が行き届かなくなり、子ども一人ひとりが埋もれてしまうのではないかという懸念が挙げられた。これに対する解決策としては、教員の増員を図ることや、複数担任制などを取り入れることで、きめ細かな指導が可能になるのではないかという意見が出された。</p> <p>次に、家庭・保護者の視点に関する課題として、通学に伴い朝の準備時間が早くなり、負担が大きくなるのではないかという意見があった。また、地域クラブ活動などへの送迎距離が長くなり、時間的・身体的な負担が増えるのではないかという声も挙げられた。これらに対する解決策としては、行事や活動の在り方の見直し、始業時間を遅らせるといった工夫が考えられるのではないかという意見が出された。</p> <p>続いて、地域に関する課題についてですが、学校再編によって地域が寂れていくのではないか、若い世代が地域を離れてしまうのではないかという懸念が示された。これに対しては、今回の学校再編そのものを改めて見直す必要があるのではないかという意見も含め、今後さらに検討が必要な課題として挙げられた。</p>
<p>委員長</p>	<p>教育課程や教育活動についてですが、子どもや教員の立場から見たときに、特に登下校に関する課題が大きく挙げられたのではないか。通学時間の長時間化やスクールバスの所要時間、さらには渋滞の問題などが指摘され、これまで短時間で通えて</p>

委員長	<p>いた距離が大幅に延びることによる負担や、安全面をどのように確保していくかが重要な課題であるという意見が出た。</p> <p>あわせて、登下校を含めた通学環境全体を、どのように補償・支援していくのかという点も大きな論点であった。</p> <p>安全性の確保も含め、通学・下校に関する課題をどう克服していくかが、非常に重要なポイントであるという整理がなされた。</p> <p>その解決策としては、スクールバスの利活用が挙げられた。例えば、通学時間が長くなる分、その時間を有効に活用できる工夫として、バスの中で宿題に取り組んだり、学習用の映像を視聴できる環境を整えたり、ICT環境を整備してWi-Fiを利用できるようにするなど、通学時間を学びにつなげるアイデアが示された。</p> <p>次に、個別指導の課題や、いじめに関する懸念も挙げられた。生徒数が増えることで、一人ひとりに対するきめ細かな指導が行き届くのか、また、いじめなどの問題が増えるのではないかという不安があるという意見。これに対しては、すでに学校で行われているサポート体制をさらに充実させること、不登校への対応や個々に応じた指導を丁寧に行うこと、教員数の確保によって大人の目を増やすことなど、支援体制の強化が解決のポイントになるのではないかという整理がなされた。</p> <p>また、寄宿舎に関する話題も挙がった。寄宿舎で生活する子どもたちをどのように支えていくのか、送迎の在り方や自宅に帰るタイミング、寄宿舎へ戻る際の対応などが課題として挙げられた。さらに、寄宿舎の管理・運営をどの機関がどのように担うのかという点も、重要な検討事項として示された。</p> <p>地域の視点についてですが、特に学校行事への地域住民の参加が難しくなるのではないかと、という点が課題として挙げられた。距離が遠くなることで、運動会などの行事に足を運ばない地域の方が増えるのではないかと懸念。解決策としては、映像配信などによって行事を見てもらうという提案があったが、実際に現地で参加したいというニーズをどこまで代替できるのか、という点については今後の検討が必要だという意見もあった。</p> <p>この点は、地域の衰退や人口減少への懸念とも関連しており、学校再編をきっかけに地域の人口がさらに減少するのではないかと不安が示された。一方で、日本全体が急速な人口減少局面にある中で、こうした状況を前提に、どのように地域</p>
-----	--

<p>委員長</p>	<p>や学校の在り方を考えていくのが、改めて重要な課題であるという認識も共有された。</p> <p>家庭の視点についてですが、経済的負担が課題として挙げられた。学校再編に伴い、これまで使用していた制服や体操服などの物品が使えなくなり、新たに購入する必要が生じるのではないかという意見。既存の物品を活用するという考えも示されましたが、そうした場合でも家庭の負担をどのように考えていくのが一つのポイントになるという整理。</p> <p>あわせて、家庭における送迎の負担も大きな課題として挙げられた。クラブ活動への送迎や、スクールバスに乗れなかった場合の対応など、保護者による支援や負担が増えるのではないかという意見。これに関連して、始業・終業時間の見直しの可能性や、スクールバスを運用する際の駐車スペースの確保など、今後検討すべき具体的な課題も示された。</p> <p>【パート3】 寄宿舎について、保護者・入寮生に聞いてみたいこと</p>
<p>委員長</p>	<p>次回の検討委員会では、寄宿舎の入寮生の保護者の方や、元入寮生の方をお招きし、実際のお話を伺う場とする予定。</p> <p>検討委員の皆さんから「聞いてみたいこと」をあらかじめお伝えし、それを踏まえた形でお話をしていただきたいと考えている。例えば、子どもにどのような成長が見られたのか、中学1年生から親元を離れることへの不安、保護者として感じたことや、入寮生本人の立場からの思いなど、さまざまな視点があるかと考える。</p> <p>せっかくの機会ですので、ぜひ聞いてみたいことや確認したい点を出していただきたい。</p> <p>時間については、20時45分までを目安に進めたい。</p>
<p>委員長</p> <p>グループ①</p>	<p>各グループで、話し合われたことを発表していただきたい。</p> <p>金銭的な負担について質問したいという意見が出された。寄宿舎への入寮自体は、基本的に市の負担で行われており、利用料はかからないとされているものの、それ以外に実際にはどのような費用が発生するのか、例えば生活に関わる細かな出費があるのかどうかについて、具体的に聞いてみたいという意見があった。</p>

<p>グループ①</p>	<p>次に、子どもの気持ちと保護者の気持ちについて、子ども自身が寄宿舎に入ることをどう感じているのか、また、保護者として自分の子どもが親元を離れて寄宿舎で生活することに対して、率直な思いや本音を聞いてみたいという意見が出された。</p> <p>あわせて、現在住んでいる地域に中学校があった場合に、そこに通いたいと思うのか、それとも多少遠くなくても規模の大きな学校に通いたいと感じるのかという点についても、子ども本人や保護者の考えを聞いてみたいという意見があった。</p> <p>さらに、通学距離や通学時間について、どの程度までであれば通学が可能だと感じるのか、また、どの段階で寄宿舎を利用したいと判断するのか、その基準について具体的に聞いてみたいという意見が出された。</p> <p>頑張れば通える距離であっても、寄宿舎を選択するという判断になるのは、どのくらいの距離や通学時間なのかについて、実体験を踏まえた話を聞けるとよいのではないか、という考えが示された。</p>
<p>グループ②</p>	<p>寄宿舎生活について、具体的な生活面を踏まえた質問をしてみたいという意見が出された。</p> <p>給食がない日の昼食については、お弁当をどのように用意していたのか、保護者の負担や子ども自身の対応について聞いてみたいという意見があった。</p> <p>土日に学校行事がある場合の対応についても話題となった。参観日や運動会が土日に実施された場合、その前後の生活はどのようにしていたのか、例えば、行事の翌日が月曜日や火曜日に休みとなった場合の過ごし方や、原則として土日は帰宅しなければならないのか、大会や部活動がある場合にはどのような対応をしていたのか、といった点について聞いてみたいという意見が出された。</p> <p>寄宿舎内の生活環境についても関心が示され、部屋の様子や男女の区別、部屋割りの方法、また浴室やトイレなどの設備がどのようになっていたのか、具体的な生活イメージが分かる話を聞いてみたいという意見があった。</p> <p>さらに、入寮時における子ども本人と保護者、それぞれの不安や気持ちについても質問したいという声があった。</p> <p>入寮を決めるまでの気持ちや、実際に入寮してから心境がどのように変化していったのかについて聞いてみたいという意見。</p>

グループ②	<p>あわせて、保護者の署名や同意が必要な書類への対応についても話題となった。進学や高校受験に関わる書類、推薦書などで保護者の記入や確認が必要な場面において、寄宿舎生活しながらどのように手続きを行っていたのか、また、進路相談や受験に関する親子間のコミュニケーションを、物理的に離れた中でどのように取っていたのかについても聞いてみたいという意見が出された。</p>
グループ③	<p>グループ1やグループ2で出された意見と重なる内容が多かった。その中で、新たな視点として、寄宿舎での食事について、子どもたちは満足しているのかという点を聞いてみたい、という意見が出された。</p>
委員長	<p>3つのグループからご意見をいただきましたが、まず共通して挙げたのが、寄宿舎生活に伴う「負担感」に関する点であった。具体的には、費用面の負担についての不安とあわせて、グループ2でも出ていましたが、親元を離れて寄宿舎で生活することに対する、子ども本人や保護者の気持ちの不安といった、精神的な面が共通のテーマとして挙げられた。実際に自宅ではない場所で生活することについて、当時どのように感じていたのか、という点を聞いてみたいという意見が多かった。</p> <p>二つ目としては、生活面に関する内容。先ほど話題に出た食事のこと、例えば給食がない日の昼食の対応や、振替休日の際の過ごし方、また、そのような場合に必ず自宅に帰らなければならなかったのかどうかといった点も含め、寄宿舎での具体的な生活の実態について知りたいという意見。</p> <p>あわせて、そうした生活全体を通して、寄宿舎での生活に満足していたのかどうか、という点が、総じて重要なポイントになってくる。</p> <p>さらに、自分の住んでいる地域に学校があった場合にどうしていたと思うか、あるいは、どの程度の距離や通学時間であれば通学が可能と感じるのかといった、距離や通学条件に関する実感についても、実際の体験をもとに聞いてみたい、という意見が多く挙げられた。</p>

<p>委員長</p>	<p>(3) その他</p> <p>今年の1月に、中学生の学校再編に関して、「より望ましい教育環境」をテーマに、中学生の意見を聞くワークショップを実施した。</p> <p>その取組を踏まえまして、ぜひ第2回目となる中学生の意見を聞くワークショップを実施できればと考えている。実施時期や具体的な内容につきましては、今後、中学校の校長先生方と十分に相談をさせていただいた上で、調整していきたいと考えている。</p> <p>本日は、まずこの第2回目のワークショップを開催することについて、ご了解をいただければと思い、提案をさせていただきました。こちらの方向で進めさせていただくことについて、ご意見をいただきたい。</p>
<p>委員A</p>	<p>事務局から、昨日または一昨日だったかと思いますが、第2回目となる中学生の意見を聞くワークショップの実施について、急なメールでご提案をいただいた。ただ、その内容を拝見し、時期尚早ではないかということで、そのような趣旨の返答をさせていただきました。</p> <p>急なご提案であったことや、日程設定もかなりタイトであったことから、学校現場としては無理があると感じたところ。簡単に言えば、まずは子どもたちの意見をどのように集め、その上でなぜ第2回目のワークショップが必要なのか、その必要性が十分に示されないまま話が進もうとしている点について、課題があるのではないかと考えた。</p> <p>学校側としては、行事等を調整しながら時間を確保する必要があり、その負担も考慮しなければならない。そのため、第2回を実施するのであれば、現在この委員会で議論している内容、例えば「こういった点を子どもたちに聞きたい」「このような課題についてどう考えているのかを聞きたい」といった、明確な質問内容や目的をまず示していただく必要があると考える。その上で、その内容を各校の校長に提示し、日程調整を行うのが適切な進め方ではないかと考える。</p>
<p>委員長</p>	<p>現時点で中学生の意見を聞くことについてですが、ぜひ実施した方がよいのではないかと考えています。その理由として、まず皆さまのこれまでの議論の中で、学校再編を進めていく方</p>

<p>委員長</p>	<p>向性について一定の共通理解が形成されつつあるという点が挙げられる。</p> <p>その上で、学校再編を進めるにあたって、やはり最も大切なのは、子どもたち自身が「どのような学校に通いたいのか」「どのような学びをしたいのか」という点ではないかと考えている。これまでの議論の中でも、まとめとしてお話ししましたが、この部分については、ぜひ直接子どもたちの声を聞く必要があるのではないかと考える。</p> <p>本日も課題がいくつか整理され、また次回は寄宿舎に関する実態を把握するために、入寮生の保護者や元入寮生のお話を伺う予定となっている。そうした形で現状をしっかりと把握していくことは重要ですが、一方で、学校が再編されるとなると、「既存の学校に統合され、ソフト面やカリキュラムは大きく変わらない」という受け止め方をされがちだとも感じている。</p> <p>だからこそ、少し先を見据えて、学校再編をきっかけに、子どもたち自身が「どんな学びをしたいのか」「西予市で教育を受ける子どもとして、どのような教育環境を望むのか」といった点を、あらためて聞いてみるのが大切なのではないかと考える。その上で、今後検討されていく学校の方針やカリキュラムの内容に、子どもたちの意見を生かしていく、そうした方向性が必要ではないかと考える。</p> <p>単に学校の数を減らすのかどうか、現状維持なのかといった議論にとどまるのではなく、学校再編を通じて、子どもたちにより充実した教育環境を提供するという観点から、どのような学びを求めているのか、学校に何を期待しているのかを改めて確認することが、今後この検討委員会の中で進めていくべき一つの取組ではないかと考える。</p> <p>以上が、現時点で中学生の意見を聞くことを提案した理由。ぜひ率直なご意見をいただければと考える。</p>
<p>委員 A</p>	<p>先ほどお話ししなかった点がありますので、補足させていただきます。今回の件については、子どもたちが話し合いをするときの進行の仕方、話の内容について、私自身としては、子どもたちにあまり聞かせたくないと感じる部分も正直あった。</p> <p>この場で具体的に申し上げることは、さまざまな配慮も必要になるため差し控えますが、小規模な場で、こうした反省点があったということをお知りおきいただきたい。その点を十分にご理解いただいた上で、新たに会を開催するのであれば、了承できる部分もあると考えている。</p>

委員A	<p>現時点ではいくつか疑問点もあり、それらを整理・解消した上で進めていただかないと、なかなか難しいのではないかとというのが率直なところ。細かな内容については、この場で申し上げるよりも、少人数の会でお伝えする、もしくはこのようなことがあったということをお聞きいただいた上で、ご判断いただければと考える。</p>
委員B	<p>少人数で集まって意見を聞く場合、どうしても生徒会の一部の生徒だけが集まる形になるが、その生徒たちは授業を抜けて参加していると聞いた。それについては、どうなのかと感じているところがある。</p> <p>実際に、授業がなくて良かったと話した生徒がいると保護者の方と話す中で、そういう話を耳にした。そうした状況を知らない保護者の方もいるのではないかと考える。</p> <p>もし意見を聞くのであれば、一部の生徒だけでなく、もっと多くの子どもたちの声が反映される形が望ましいのではないかと感じている。生徒会の子たちだけが、必ずしも全体の意見を代表しているとは言い切れないと考える。</p> <p>現在はネット環境も整ってきているので、例えばオンラインで各クラスをつなぎ、それぞれの教室から意見を出してもらうような形が取れるのであれば、授業を抜ける生徒が出ることも避けられるし、より多様な意見を聞くことができるのではないかと考える。</p> <p>そのような工夫をすることで、子どもたちに過度な負担をかけることなく、幅広い意見収集ができるのではないかと考える。</p>
委員長	<p>実施の方法については、今後、皆さまと相談しながら決めていきたいと考える。</p> <p>先ほど、懸念点や疑問点が示されたが、それらの点について協議を行い、課題が整理・克服できるのであれば、実施は可能であるというお話だった。その点を踏まえまして、まずは懸念点を整理し、対応について十分に検討した上で、条件が整えば実施するという形で進めさせていただくことでよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>皆さまから特に反対のご意見がないようでしたので、第2回目の中学生の意見を聞く取組については、条件付きではありますが、実施に向けて進めさせていただきたいと考える。今後、</p>

委員長	具体的な条件や方法について整理した上で、改めて相談させていただく。
委員長	その他について、事務局に説明を求める。
事務局	<p>その他（次回開催予定）について説明する。</p> <p>（日程調整）</p>
委員長	<p>次回検討委員会を、令和8年5月20日 水曜日 19時開始 西予市役所5階大会議室とする。</p> <p>5 その他</p>
事務局	<p>新年度を迎え、役職の交代がある場合もあるかと思う。前回の検討委員会でもお伝えしたが、委員が変更になる場合には、後任の方がどなたになるのか、また、いつから交代されるのかについて、ご連絡をお願いしたい。</p> <p>あわせて、これまでの検討内容につきましては、後任の方へ引き継ぎをお願いしたい。</p> <p>また、新たに委員となられた方については、事前に書類を同封させていただいている。提出をお願いする。</p>
副委員長	<p>6 閉会 閉会あいさつ</p> <p style="text-align: right;">終了 21:05</p>
備 考	